

第三節 大正十四年

大正十四年度東京美術學校年報

甲 款

概況

大正十四年四月五日本科及選科入學許可者ノ氏名ヲ本校内ニ揭示發表シ同月十六日官報ニ掲載セリ

同年十月四日本校設置記念日ナリシモ本年ハ都合ニ依リ繰下ケ十一月四日記念式ヲ行フ

同十五年一月八日午前十時ヨリ職員生徒一同講堂ニ參集シ新年授業始式ヲ學ケ御眞影奉拜勅語奉讀ヲ行ヒタリ

同年三月二十四日午前十時ヨリ本校第三十五回卒業式ヲ行ヒ例ニ依リテ卒業製作並工藝部成績品ヲ別室ニ陳列シ來賓ノ觀覽ニ供シ翌二十五、二十六兩日間廣ク本校關係者及有志等ニ觀覽セシメタリ

規程

大正十四年三月五日本校規則中授業料研究料ノ増徴ニ關シ改正スル所アリ 同年六月四日勅令第二百十六號ヲ以テ東京美術學校專任職員ノ定員中書記「六人」ヲ「七人」ニ改メラル

設備

- 一、日本畫科標本臨時設備費
- 二、西洋畫科標本臨時設備費

三、彫刻科標本臨時設備費

〔以下大正九年度以降年報と同文につき省略。〕

職員

本年度ニ於ケル職員ノ數ハ學校長一人教授三十人助教十八人書記五人嘱託講師十七人同教員八人同醫師一人副科嘱託三人教務屋十人事務屋九人ニシテ之ヲ前年度末ニ比スレバ教授ニ於テ一人ヲ減シタルモ助教授ニ一人ヲ増シ書記ニ一人ヲ減シタルモ嘱託講師ニ二人教務屋ニ二人ヲ増シ其他増減ナシ

本校教官ニシテ文部省在外研究員ヲ命セラレ在外研究中ノ者教授一人助教授三人アリ 前年度末ニ比スルニ助教授ニ二人ヲ増セリ生徒

全体ニ於ケル生徒ノ學力操行健康ノ狀態ハ前年度ニ比較シテ大アルヲ認メズ 新入學生徒ニ在リテモ大要亦同様ニシテ特ニ標學スベキ事情ナシトス

本年度新入學者ハ本科百二十九人選科二十五人圖書師範科二十二人研究生二十八人（内支那人一人アリ）ニシテ其入學者ノ學力程度ハ本科生ニアリテハ官公立中學校卒業者六十五人私立中學校卒業者三十六人師範學校卒業者二人工業學校卒業者十三人工藝學校卒業者九人農學校卒業者一人殖民貿易學校卒業者三人ナリ 選科生ニアリテハ私立中學校卒業者一人工業學校卒業者一人中學校二年修了者四人高等小學校卒業者七人商業補習學校卒業者一人高等小學校未卒業者三人ナリ 圖書師範科生ニアリテハ官公立中學校卒業者十三人師範學校卒業者八人商業學校卒業者一人ナリ 研究生二十八人ハ何レモ本校卒業者ノ入學シタルモノトス

新入學生徒ノ年齢ハ本科生ニアリテハ最高二十六年六月最低十八年二月ニシテ平均二十一年九月ナリ 選科生ハ最高二十七年四月ニシテ最低二十年一月平均二十二年ナリ 圖畫師範科生ハ最高二十五年十月最低十八年五月ニシテ平均二十一年六月ナリ 研究生ハ最高三十五年最低二十三年六月ニシテ平均二十六年七月ナリ (以上外國人生徒ヲ除ク)

生徒ノ入退學ニ就テハ本年度入學者本科百二十九人選科二十五人圖畫師範科二十二人研究生二十八人再入學者二人ニシテ退學者ハ病氣退學三人家事係累退學二十三人除名處分ノモノ九人(内外國人一人アリ) 死亡十人在學資格消滅七人轉科八人アリ 之ヲ前年度ニ比較スレバ入學者ハ本科ニテ十四人ヲ増シタルモ選科ニテ二人圖畫師範科ニテ五人研究生ニ四人ヲ減セリ 退學者ニアリテハ病氣退學ニ二人除名處分ニ一人研究生在學資格消滅ニ三人復校ニ一人ヲ減シタルモ家事係累退學ニ五人死亡ニ九人轉科ニ二人ヲ増加セリ

生徒ノ員數ハ本年度末ニ於テ之ヲ前年度末ニ比スレバ日本畫科ニ四人西洋畫科ニ七人建築科ニ三人圖案科ニ二人金工科ニ一人鑄造科ニ二人寫眞科ニ七人研究生ニ四人ヲ増加シ漆工科ニ一人選科ニ二十七人圖畫師範科ニ六人ヲ減少シ彫刻科ニハ増減ナシ 之ヲ總合シテ全体ノ差引ノ結果ハ四人ノ減少ヲ示セリ 右各科生徒中日本畫科西洋畫科ノ増加シタルハ募入人員ヲ増加シタルニ起因スルモ全体ヨリ見テ四人ノ減少ヲ見タルハ財界ノ不況ニ伴ヒ家事係累退學者ノ前年度ニ比シ増加シタルニ依ルヘシ 尚本年度末在學外國人ハ五人アリ 前年度末ニ比シテ一人ヲ減シタリ

本年度ノ卒業生ハ本科八十六人選科十七人特別學生六人圖畫師範科二十六人ニシテ計百三十五人ナリ 前年度ニ比シテ三十人ヲ増加セリ

生徒中學術品行殊ニ優等ナルモノヲ選ヒ本校規則第二十六條ニ依リ特待生ト爲シ大正十四年四月一日ヨリ一學年授業料ヲ免除セシモノ二十四人アリ 之ヲ前年度ニ比スレバ四人ヲ増加セリ

圖畫師範科生徒ニハ前年度ニ於ケルト同一方法ニ依リ學術又ハ技藝ノ優秀ナルモノニ等差ヲ付シテ獎勵金ヲ給與セリ 即チ大正十四年十月及大正十五年二月ノ兩回ニ同科生徒ノ競技會ヲ催シ其成績ヲ考查シ優秀ナルモノニ獎勵金ヲ與ヘ又年度末ニ於テ別ニ學術操行ノ優秀ナルモノヲ選抜シテ同シク獎勵金ヲ付與シタリ

大正十五年三月末卒業スヘキ各本科並ニ選科生徒六十四人ノ実地修學ノタメ本年度ノ初四月十六日ヨリ五月二日迄十七日間教授二人助教授一人書記二人之ガ引率又ハ附添ニ任シ三重奈良京都ノ一府二縣ニ出張シ著明ナル神社佛閣等ヲ歴觀シテ美術上ノ實地研究ヲ爲シタリ

同シク十五年三月末ニ卒業スヘキ圖畫師範科生徒二十五人ヲシテ實地教授法視察研究ノ爲本年度十月十四日ヨリ同月二十三日迄十日間教授一人之ヲ引率シ京都、大阪、奈良ノ二府一縣ニ出張シテ視察研究ヲ爲サシメタリ

本校ニ於テハ生徒皆通學ナルヲ以テ寄宿舎ニ關シテ申報スヘキ事項ナシ

將來施設上重要ト認ムル件

在外研究員ノ増員并ニ教官ヲ外國ヘ派遣ノ件

大正十二年度以降報告とはほぼ同文につき省略。

工藝部一學年教室新築ノ件〔同右。〕

女子部新設ノ件〔大正十年度以降報告と〕

本校附属奈良研究所設置ノ件〔大正十二年度以降報告と〕

陳列館新築ノ件〔大正十三年度報告と〕

雜件

生徒實驗ノ資ニ供スルタメ諸所ヨリ依囑ヲ受ケ製作ニ從事シタルモノノ中重ナルモノヲ舉グレハ左ノ如シ

依囑製作一覽

品目	數量	受託年度	竣工年度	依託者
西洋畫額	壹面	十三年度	十四年度	宮内大臣官房用度課長
賞牌及金具	參百四個	十四年度	十四年度	農林省
銅製釣燈籠	壹個	十四年度	十四年度	北白川宮家
香爐	壹個	十三年度	十四年度	宮内省皇后職
銀製雙鶴置物	壹對	十四年度	十四年度	東京府知事
二見ヶ浦置物	壹個	十四年度	十四年度	宮内省東宮職
日本畫幅	壹幅	十四年度	十四年度	高松宮附宮内事務官石川岩吉
素銅花瓶	壹對	十四年度	十四年度	高松宮附宮内事務官石川岩吉
花盛器	貳個	十四年度	十四年度	農林省
白馬置物	壹個	十四年度	十四年度	龜岡泰辰

『東京美術學校校友會月報』記事抜粹

東京美術學校近事 二四一。T・一四・四・三

○職員辭令

大正十四年二月十六日

學術研究ノ爲石川縣富山縣へ出張ヲ命ス
但往復共四日間ノ事
教授 六角注多良

助教授 松田 義之

學術實地指導ノ爲神奈川縣下へ出張ヲ命ス
但往復共一日間ノ事

同 年同月十九日

雇 谷本千代雄

同 年同月二十五日

書記 宮本 純一

同 年同月二十七日

教授 森井 健介

陞敍高等官三等（内閣）

教授 矢代 幸雄

陞敍高等官六等（内閣）

助教授 石田 英一

任東京美術學校教授 敍高等官七等（内閣）

助教授 平田 榮二

任東京美術學校教授 敍高等官七等（内閣）

教授 結城 貞松

同 年三月六日

右在外研究中ノ處三月四日歸朝ノ旨届出

教授 六角注多良

支那へ出張ヲ命ス（文部省）